

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 NPO結II

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			国の指定基準を満たしたスペースの確保をし、活動スペースとして提供しています。	
	2 職員の配置数は適切である	4		利用者様の居る時間と指導員の休憩時間が複数人重ならない様にシフトを組んでいます。	国の職員配置指定基準を満たした職員数を配置しています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		4		事業所内はフラットなスペースになっているが、施設入口やトイレ等は少し段差があり完全にバリアフリーとは言えない。又、事業所が貴質の為バリアフリー化させる工事が難しい。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		2018年開設時かPDCAサイクルの取り組みをしております。	開設当初からPDSAサイクルの取り組みを開始しています。今後も職員間で連携を深めつつ、期間ごとに振り返りを行い参画を行ってまいります。(6か月毎)	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		送迎時やLINE等を活用し意向等を聞くようにしています。	年1回のアンケート配布と個別支援計画作成時に意見聴取を行っています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		全利用者様に向けてHPにて公開しています。	HPにて公開しております。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4		保護者の方にはこのアンケートを通じて評価をしてもらっていますが、第三者による外部評価は行っていません。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		事業所内でも勉強会を実施しています。	年単位で受講計画を立てて行政・民間の研修を受ける様にしています。事業所内でも勉強会を実施しています。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4		同法人内で統一したアセスメントシートを用いて、アセスメントを行っております。	同法人内で統一したアセスメントツールを用いてアセスメントを行うと共に、利用者様や保護者様のニーズに沿った計画を作成させて頂いています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		同法人内で統一したアセスメントシートを用いて、継続性の有る支援を行っております。	同法人内で統一したアセスメントツールを用いて、継続性の有る支援を行う様にしています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	4		活動プログラムについては個々に意見を出し合い、話し合いを行っています。	指導員・サービス管理責任者が意見を出し合い、プログラムの立案を行っています。	
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			随時、利用者様の状況に応じて、プログラムの見直しを行い柔軟性の有る支援を行います。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			平日、長期休暇に応じてプログラムを組み替え、細やかな支援を心掛けています。予定変更が苦手な利用者様には、個別の予定表を目で見てわかる様に、徐々に変化に慣れてもらえる様に対応しています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			個別活動・集団活動のバランスを大切にされた個別支援計画を作成しています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		毎朝、職員みんなでミーティングを行っています。	その日に提供する個別・集団の支援内容や役割分担について、支援開始前に確認を行っています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		LINEを活用し、支援の振り返りを行っています。	支援終了後に、気付いた点や特記事項をグループLINEで共有し、翌日の始業前ミーティングで振り返りを行い話し合っています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		どんな些細な事でも記録を取る事を職員間で徹底しています。	日々ケース記録を作成し、支援の検証・改善に繋げています。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			6か月毎にモニタリング・アセスメントを行い、計画の見直しを行っています。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	4			ガイドラインの総則の基本的活動を複数組み合わせさせて支援を行っています。今後も放課後等デイサービスガイドライン総則に基づいて、日々の支援を行ってまいります。	
	関係機関や保護	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			サービス管理責任者が会議に参加しています。
		21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		学校へお願いをし、月単位での予定表を頂いています。	学校への迎えの際に適時情報を共有し、連絡調整を行っています。
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			4	現在は医療的ケアが必要な利用者様はいません。	現在、医療的ケアの専門スタッフの配置はなく、医療的ケアが必要な子供さんのご利用はありません。	
23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		4			必要に応じ、保育所や幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めています。	
24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		4			要請が有った場合に、御家族の同意を得たうえで、それまでの支援内容等の情報を提供しています。	

者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4			障がい児等療育相談支援事業所を主とした連携を深め、会議・研修等に積極的に参加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4		保護者の方にも了解を取り、希望される方が多ければ、今後交流が持てる機会を作っていくと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		4		事業所が所在する地域の自立支援協議会に、障がい児支援に特化した部会がないので参加の声がかからないのだと思います。声がかかれば積極的に参加したいと思っています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		連絡ノートやLINE等でこまめに情報交換しています。	家族様との情報交換を密にし、共通理解を持てる様に心掛けています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		4		今現在、ペアレント・トレーニングを事業所内で行う事は不可能なので、外部であれば必要に応じて情報を提供していきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			契約時に運営規定・支援内容・利用者負担等について丁寧に説明を行っております。又、適時問い合わせ等があった場合は管理者が適時説明を行います。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			随時、家族様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、担当の障がい児相談支援専門員と連携し助言と支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4		参加を希望される家族様が少ない事から実施致しておりません。今後、家族様から希望があれば開催したいと思っています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		室内に苦情解決のPOPを掲示しております。	利用者様や家族様からの苦情申し入れに対し、苦情受付機関を設けております。今後も、苦情に対して、迅速で適切な対応を心掛けて対応していきたいと思っています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		個別にLINEで写真や様子をお知らせしております。	会報は発行していません。Instagramに行事の様子をUPしております。
	35	個人情報に十分注意している	4		鍵がかかるキャビネットを利用しております。	個人情報の取り扱いには管理者の決済を以て行う事として、細心の注意を払っております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			日本語での意思の疎通や情報伝達が難しい日系の保護者様や利用者様には、通訳を介して伝える等の配慮を行っています。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		コロナの流行以降は地域行事(白塚獅子舞保存会)の招待をしていません。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4		年3回は想定訓練を実施しています。	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定して職員間で共有しています。家族様にもお伝えしています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			通常5・9・12月に避難訓練を行っています。昨年は垂直避難や南海トラフを想定した避難訓練を行いました。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			虐待防止委員会を年に1回以上、研修も同時に行い、外部の研修にも参加しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4		身体拘束が必要とされる利用者様の受け入れを行っていない。	契約時には必ず、「利用児童又はその他の利用児童の生命又は身体を保護する為、緊急やむをえない場合を除き、行動制限その他利用児童の行動を制限する行為は行わない」という説明をさせて頂いています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		アレルギーチェック表を家族様に渡して記入して頂いている。	家族様からの聞き取りでアレルギーに対する対応は行っておりますが、医師の指示書は頂いておりません。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		ヒヤリハット報告書を作成している。	ヒヤリハット例があった場合は毎日の記録に記載し、事業所ミーティングで検証を行います。	